

知多半島総合医療センター



外観

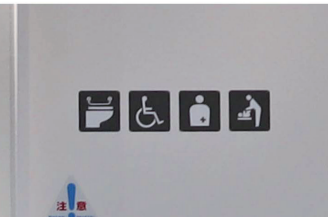
「市立半田病院」が移転、新たに「知多総合医療センター」として開院した。地下1階、地上5階建てで、国内屈指の免震装置を採用。屋上にヘリポートも設け、災害時には拠点病院になると期待されている。



B1F バリアフリートイレ



地下玄関ホールのバリアフリートイレは、18台分用意されている思いやり駐車場とつながる位置に設置。オストメイト対応の汚物流しとベビーシートが設置され、触知図と扉のピクトグラムでわかりやすく案内している。



1F 泌尿器科 検査トイレ

泌尿器科のトイレには、いつものように排尿するだけで尿流量測定(ウロフロメトリー検査)ができるフロースカイを設置。洗面器には自動水栓一体形電気温水器を採用、冬場でも快適、確実に手洗いできる。



1F 薬物療法センター
バリアフリートイレ

薬物療法センターに設置されている尿流量測定装置フロースカイは、がん薬物療法による曝露リスクを軽減するためふた付の便座とし、尿流量測定用のウォシュレットによって、便ふた閉止後に洗浄することができる。



2F 医局内 男性トイレ



壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用し、災害時などへの備えとして停電時洗浄レバー付タイプを選定。小便器の間にも紐付きの呼出ボタンを備え、体調不良時や転倒時に配慮している。



2F 医局内 女性トイレ



すべての大便器ブースにL型手すりを設置し、さまざまな身体状況の職員に対応できるように配慮。大便器は床清掃のしやすい壁掛式を選定。洗面カウンターには非接触で手洗いができる自動水栓を設置している。



2F 医局内
バリアフリートイレ

使いやすさと空間としての統一感を実現した、フラットカウンター・バリアフリートイレバックを採用。高さ750mmのL字形カウンターに主要なすべての器具を組み込んでいる。



2F 検体検査室 手洗室

ステンレスのシンクを広く取り、センサーに手をかざすと吐水するゲースネックタイプの自動水栓と通常の自動水栓を設置。しっかりとした手洗いはゲースネックタイプ、通常洗浄には自動水栓といった選択ができる。



2F 解剖室

解剖室には、手首までしっかり手洗いできるスタッフ用手洗器と、足元がスッキリして床掃除がしやすい壁掛式のパブリック用流しを採用。ステンレスのシンクには、シャワー付の壁付シングル混合水栓を設置している。



2F 透析室
バリアフリートイレ



透析室にあるバリアフリートイレ。ゆったりとしたスペースを確保し、洗面器には、冬場でもしっかりと手洗いできるように配慮して、自動水栓一体形電気温水器を設置している。



2F 透析室
スタッフステーション



透析室スタッフステーションの2ヶ所の入口付近に、手首までしっかり手洗いできるスタッフ用手洗器を設置。冬場も快適、確実に手洗いできるように、電気温水器付きとしている。



2F 透析室 汚物処理室



汚物処理室には、手がざして洗浄できるセンサースイッチを選定した掃除口付パブリック流しを設置。また、電気温水器付きスタッフ用手洗器の横には棚を設け、手荷物を置いて確実に手洗いできるように配慮している。

知多半島総合医療センター



2F 家族控室



手術中に家族が待機することのできる控室。ゆったりとしたソファとモニターが備えられており、室内に男女共用の個室トイレが用意されている。



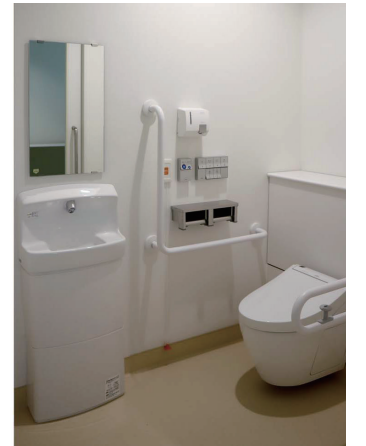
3F 観察室(4床室)



スタッフステーションから、大きな窓越しに患者の状態が把握できる観察室。スタッフ用手洗器も視野に配慮して設置。観察室には、車いす対応洗面を設置し、手動スイッチ、温水切り替え付の自動水栓を選定している。

3F 4床室①
洗面コーナー

4床室①は、窓際に洗面コーナーを設置。手洗いするたびに自然と外の景色を眺め気分転換ができる。洗面コーナーには車いす対応洗面を採用し、吐水口の空間が広いゲースネックタイプの水栓を選定している。

3F 4床室②
洗面コーナー・トイレ

4床室②は、病室の入口を入ってすぐの位置に車いす対応洗面を設置。すべての4床室のトイレは、病室を出た廊下からアプローチする共用トイレとし、コンパクトな手洗器とL型手すりを設置している。



3F 特別個室



特別個室には、シャワールームを完備。トイレの扉は、車いすでも入室しやすいよう開口部が広く確保できるタイプを採用。洗面もコーナータイプの車いす対応洗面を設置するなど空間を有効に活用している。



3F 一般個室



ゆったりとした空間を確保したトイレと車いす対応洗面を設置した一般個室。大便器は清掃性のよい壁掛式で停電時洗浄レバー付を選定。木目の床や家具と壁に飾られた花柄のボードが、温かみのある空間を演出している。



3F バリアフリーストイレ①



バリアフリーストイレ①には、乳幼児連れ配慮としてベビーチェアとベビシートを用意。また、座位保持や立ち座りに配慮し、便器に前方ボード(スイングタイプ)とトイレ用手すり(はね上げタイプ)を設置している。



3F バリアフリーストイレ②



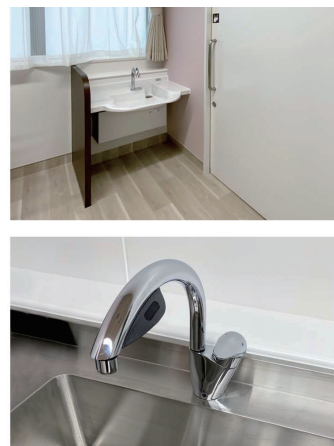
バリアフリーストイレ②には、車いすから便座への安全な移乗と介助者の負担も軽減する前方ボード(スイングタイプ)を設置。オストメイトに配慮して、コンパクトオストメイトパックも完備している。

3F 周産期センター
赤ちゃんとお母さんの部屋

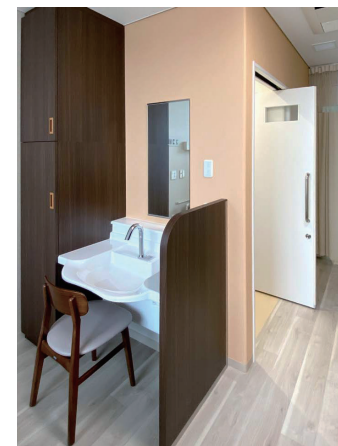
周産期センターに設置された「赤ちゃんとお母さんの部屋」と名付けられた部屋。6人分ほどの授乳スペースが用意され、授乳指導なども受けられる。室内に自動水栓を設置した手洗器と乳児バスを完備している。

3F 周産期センター
新生児室

新生児室にも、生後間もない乳児専用の乳児バスを設置。新開発のオーバーフロー槽やワンプッシュ式排水栓により高い衛生性を維持。看護師の腰の負担を軽減するよう、あふれ面を850mmに設定。手洗い器も設置。

3F 周産期センター
LDR室

陣痛・分娩・回復までを同じ部屋で行うことができるLDR室を3室用意。L型手すり付きのトイレ、車いす対応洗面を設置。シンクには、センサーで水を出し止めできるゲースネックタイプの自動水栓を選定している。

3F 産婦人科病棟
産科個室

産科個室の洗面コーナーには、ほかの病室と同様の車いす対応洗面を設置し、座って使えるよう椅子も用意。さらに、L型手すりのついたトイレとシャワールームも完備している。

知多半島総合医療センター



3F キッズトイレ



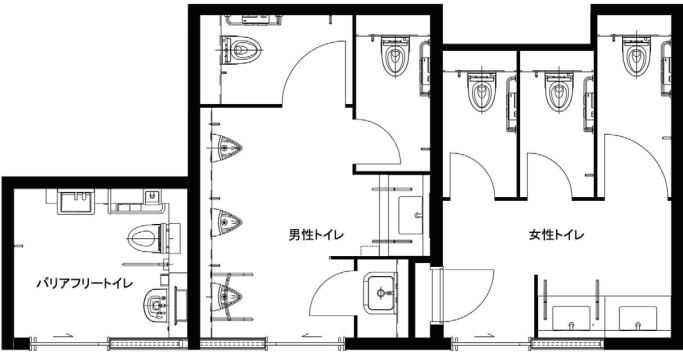
婦人科病棟の近くには、幼児用大便器を設置したキッズトイレを用意。スペースをゆったり確保しているため、保護者やスタッフがサポートできる。隣にはベビーチェアを備えた、男女共用トイレを設置している。



3F 感染症対応個室



感染症対応個室の入口は、二重の引き戸となっており、入ってすぐの場所にスタッフ用手洗器を設置。室内には、便器設置タイプの病院・介護施設向けユニットとコーナータイプの車いす対応洗面を設けている。



2F 医局内トイレ図面

医局内トイレには、車いす使用者が利用できるバリアフリートイレも整備。男女トイレ内にも手すりも設置されており、さまざまな状況の職員や一時的なケガにも対応することができる。



3F シャワー室

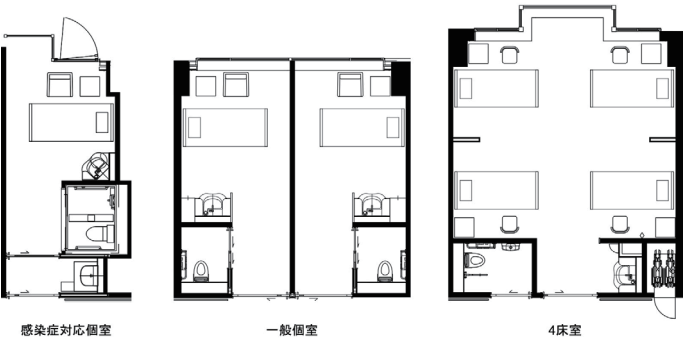


車いす対応の広いシャワー室手前には洗髪器を設置。さらに、脱衣の際に立位でつかまれるI型手すりを2ヶ所用意。また、シャワールーム内にもL型手すりを設置し、安全面に配慮している。



4F バリアフリートイレ

パブリック用折りたたみシートとコンパクトオストメイトパックを設置したバリアフリートイレ。同一フロアに配置されたバリアフリートイレとは、設備にバリエーションを持たせることで多様な利用者に対応している。



3F 病室図面

病室トイレは介助がしやすいよう、トイレ入口の開口や空間寸法を広く確保。すべての病室の洗面コーナーに、車いす対応洗面を採用し、スペースに応じてストレートタイプとコーナータイプを選定している。



5F リハビリテーション室
トイレ

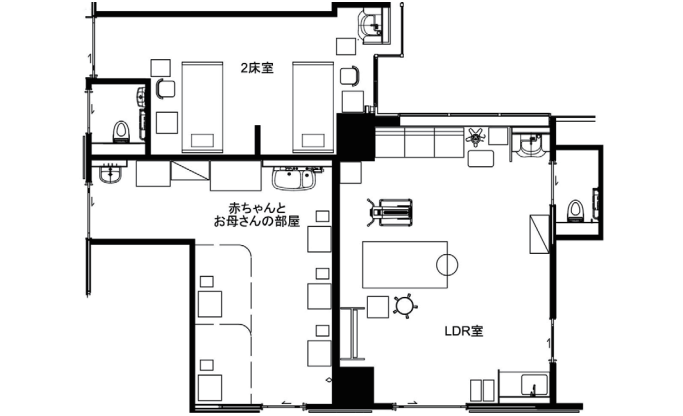


大きな窓に面した、開放的な雰囲気のリハビリテーション室。トイレは、すべて個室完結型の男女共用トイレとし、片マチの方にも対応できるよう、左右勝手違いのバリアフリートイレを隣接して設置している。



5F リハビリテーション室・
リハビリ庭園

リハビリテーション室にも、手首までしっかり手洗いできるスタッフ用手洗器を設置。リハビリ庭園は、ルーバー越しに近隣の山並みが望め、日を浴び、風が通り抜ける気持ちのよい環境でリハビリをすることができる。



3F 周産期センター図面

LDR室は3室用意されており、安心して出産することができる。また「赤ちゃんとお母さんの部屋」には、授乳コーナーを複数設け、授乳指導などを受けることが可能。入口に手洗いを設置して衛生面に配慮している。

水まわりの特長

建物の特徴

「知多半島総合医療センター」は、知多半島の医療の中核を担うべく、市立半田病院を移転し、2025(令和7)年4月に開院。主に24時間体制の救命救急センターを核とした高度急性期医療・がん医療・小児周産期医療を提供する。CTやMRIなどの検査設備を救命救急センターの隣に設置。さらに、救命救急センターと手術センター・集中治療室、屋上ヘリポートを繋ぐ救急専用のエレベーターを設置し、搬送直後から迅速な対応を可能としている。周産期センターには、陣痛から回復までを同室で過ごせるLDR室も設置。また、南海トラフ巨大地震が発生した際でも機能が維持できる免震システムを建物基部に備え、病院東側に設置された半田市防災広場と連携するなど、災害時診療拠点としての機能を充実させている。

水まわりの特長

院内の大便器は、床の清掃性に配慮して壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用し、さらに、災害時などに配慮して停電時レバー付を選定。トイレの設置場所に応じて、L型手すりや前方ボード(スイングタイプ)、トイレ用手すり(はね上げタイプ)などを組み合わせて、多様な利用者に対応。さらに、院内に多数設置されたバリアフリートイレも、配置場所によって乳幼児連れ配慮やオストメイト配慮、パブリック用折りたたみシートの設置、左右勝手違いの設置など設備のバリエーションを設け、設置場所や利用者のニーズに応えられるように細やかな配慮がなされている。また、スタッフにしっかりと手洗いが求められる場所には、要所にスタッフ用手洗器を設置し、衛生面に配慮している。

建築概要

名称	知多半島総合医療センター
所在地	愛知県半田市横山町192
施主	半田市
設計	株式会社内藤建築事務所
施工	新半田病院特定建設工事共同企業体 (大林組・八州建設・七番組・出亜電気工業・三和)
竣工年月	2024年10月
敷地面積	39,615.88㎡
建築面積	12,300.27㎡
延床面積	44,855.89㎡
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造・地下1階、地上5階、塔屋2階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CSN
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5524AU
棚付二連紙巻器:YH701
自動洗浄小便器:UFS900R
壁掛ハイバック洗面器:LSC125CN
車いす対応洗面(居室向け):MVHG、MVHL
スタッフ用手洗器:LSE850RP
台付自動水栓:TEK34UPASB、TLE33SM6A
フラットカウンター・バリアフリートイレバック:XPDA0RS*211WWW系、XPDA0LS*211WWW系
コンパクトオストメイトバック:UAS81RSC1NW、UAS81LSB1NW
パブリック用折りたたみシート:EWC500RN
前方ボード(スイングタイプ):EWC740
幼児用大便器:CS300B+S300BK
ベビーシート:YKA25N
ベビーチェア:YKA15S
乳児バス:BH27
パブリック用流し:SKL330DNFP、UAS23B
病院・高齢者施設向けユニット ESシリーズ:ESV1216系
シャワールーム:JSV0812系